

デジタルアーカイブで図書館は変わる

知の拠点としての図書館



原田隆史

(同志社大学)

E-mail : ushi@slis.doshisha.ac.jp

デジタルデータの保存

2

- デジタルデータの保存自体は難しくはない
 1. 電子資料を収める媒体の寿命
 2. 再生装置の破壊や寿命, 入手可能状況
 3. 電子的な記録を符号化仕様の変化
 4. 再生するためのアプリケーションソフトに依存
 - アプリケーションソフトの入手可能性
 - バージョンが異なっただけで動作しない : PDF...
 5. 土台となるOS自体が変化してしまう可能性
はあがるが...

使えなければ意味がない



使えるデジタルアーカイブとは何か？

- 綺麗な画像が必要なのか？
- リッチなコンテンツの画像が必要なのか？
- 大量のデータが公開されていることが必要か？
→ 該当した方が望ましいが全て二の次三の次
- そもそも使えるとは何か？

オープンデータという潮流



- データは単に公開提供されるだけではなく、効果的に活用される必要がある
- できるだけ制約を無くすことが肝要
- 社会制度上の制約も存在
- もっとも大きい制約は特許や著作権等の知的財産権
- 第3者がそのデータを利用した成果もさらに再配布したり、さらに使いやすいように加工したのも提供できるようになることが必要とされることも多い。
- 制約を無くすための仕組みがオープンライセンス

オープンデータライセンス



- どのように使うことができるかを規定
- 代表格はクリエイティブ・コモンズ
(Creative Commons; 略称CC) ライセンス
 - 著作権所有者の帰属表示といった基本的な条件を満たす場合に限り、第3者による加工や再利用を許すライセンス
 - オープンなデータ共有のために広く用いられている
 - 完全に著作権の制約を無くすために条件を無くしてパブリックドメイン (public domain) の公共物にするという扱いにすることもあ

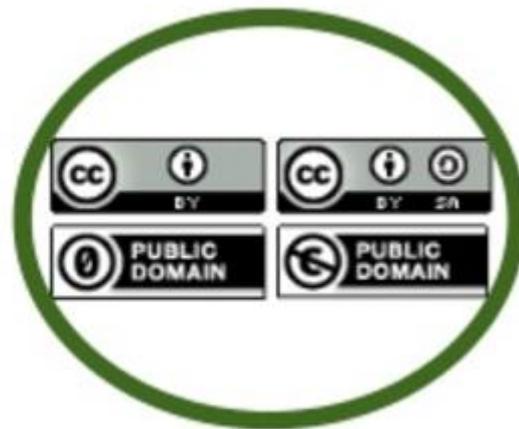
クリエイティブ・コモンズ・ライセンスとオープン

- CCライセンスが付与されたものが「オープンデータ」ではない

CC-BY-NC, CC-BY-ND等
非営利限定, 改変禁止

CC-BY, CC-BY-SA等

誰もが自由に利用, 再配布, 再利用

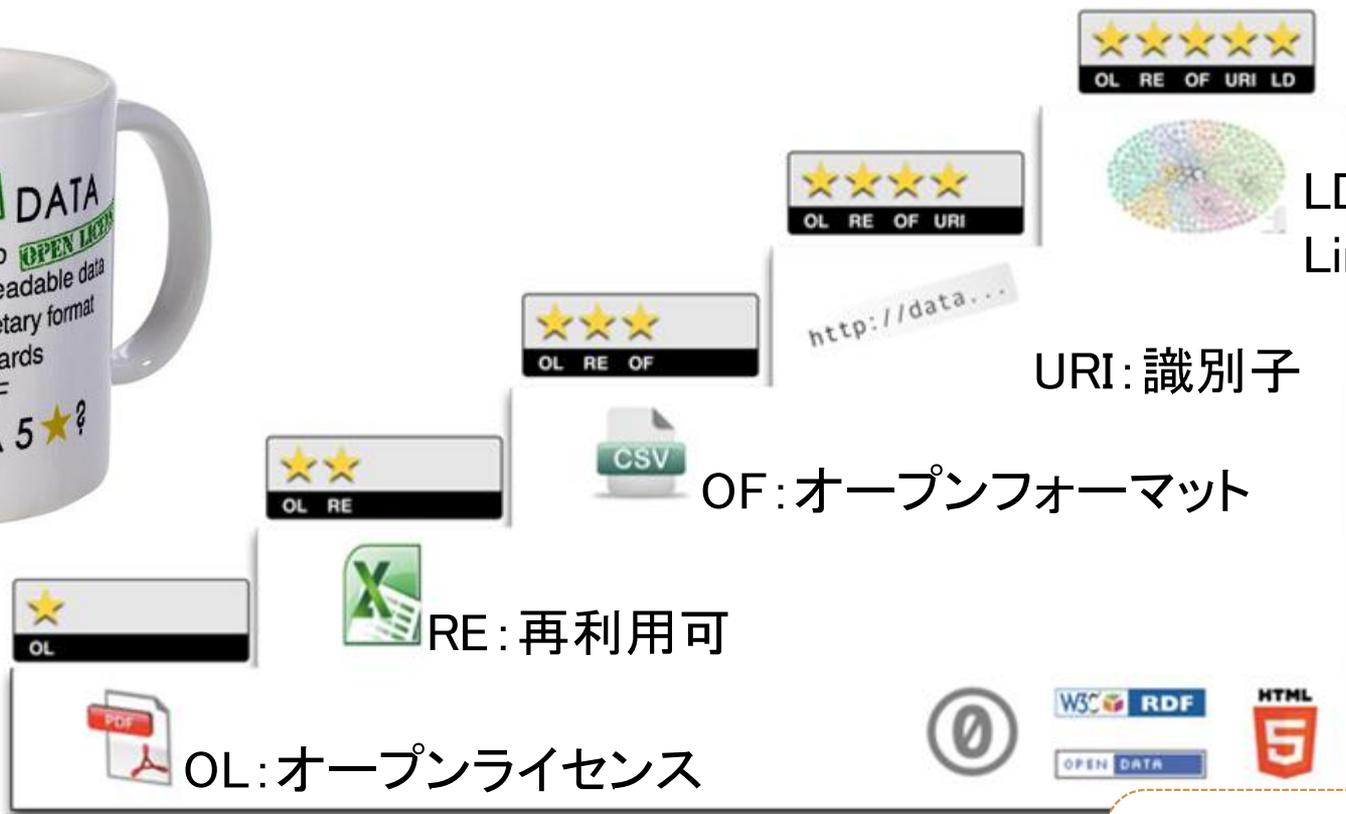


それでも公開しないよりは偉大な一歩前進

オープンデータ(Open Data)



Tim Berners-Lee, the inventor of the Web and Linked Data initiator, suggested a 5 star deployment scheme for Open Data. Here, we give examples for each step of the stars and explain costs and benefits that come along with it.



<http://5stardata.info>

★4, ★5でデータ公開をめざす意義



- 情報を使う
- 情報を探す
- 情報を集める
- 情報を整える

負担を減らすために

使う側に効率的なデータ環境の整備

標準化の重要性



- 互換性の確保
 - システム更新時の様々なコストを低減
 - システム間連携に関わる費用の低減
- 相互理解
 - 直接的なシステムの連携だけではない効果
- 消費者の利益の確保
 - 操作性の向上
- 新技術の普及
- 環境の保護
 - 開発コストの削減とともに など

IIIF(International Image Interoperability Framework)



- Webでの画像のやりとりの仕方を効率化するための手法
- Image API(画像API)とPresentation API(表示API)
- 画像APIは, リクエストに応答して画像を返すウェブ・サービスの仕様を定義
- 表示APIは, 画像資料オブジェクトの複雑な構造とレイアウト情報を記述するためのJSONフォーマットを定義
- 独自の機能を持つさまざまな画像ビューアが異なる機関から提供される資料オブジェクトを一貫した形で扱える

標準化した上で利用のために



- 標準化して公開すれば使ってもらえるわけではない
- 標準化にもレベルがあり，仕組みもある
- どのように使ってもらうかが重要
- 作成者が予想した使い方と違う利用
- 思ってもみななかった関係者
- はじめの一步をどのように踏み出すか